

コミュニティバス「フラワー号」に2台目のEVバスを導入します

本年5月に「SDGs未来都市」に選定された本市では、ゼロカーボンシティの実現に向けて、昨年度に引き続きEVバスを導入します。埼玉県内のコミュニティバスにおいて、2台目のEVバスの導入は、本市が初めてとなります。現在運行中の車両には、本市の街並みや四尺玉の花火などが描かれています。

【導入車両】 BYDジャパン J6

【定員】 36名

【航続距離】 210km（冷房起動時）

【特徴】 すべての人に快適で安全なノンステップ仕様、ディーゼルエンジンのバス車両と比較すると静かなため、騒音等の環境改善にも有効です。

【経済性】 燃料費で約35万円、維持管理コストが約13万円削減され、2台目のEVバスでは、年間約48万円のコスト削減が見込まれます。

【環境配慮】 ディーゼルエンジンのバス車両1台が排出する年間約45トンの二酸化炭素をすべて削減することができます。

【運行予定】 令和6年3月1日から運行開始予定

〈 EVバス J6 〉

